

ブリモニジン点眼による角膜混濁に関する臨床研究

1. 研究の対象

2015年1月～2025年2月に、お茶の水・井上眼科クリニックにおいてブリモニジンを含む点眼剤(アイファガン®、アイラミド®)を使用している方。

2. 研究目的・方法

ブリモニジン点眼をしている緑内障患者に角膜混濁が発生する事が2017年に報告された。角膜混濁の発症機序はブリモニジンや添加剤へのアレルギー反応、血管新生作用、血管透過性亢進作用など考えられるが、いまだ不明である。またブリモニジン点眼患者のうちどれくらいの頻度で角膜混濁が発生するのかも不明である。本研究では、お茶の水・井上眼科クリニックに通院する患者のうち、緑内障治療のためにブリモニジンを含む点眼剤(アイファガン®、アイラミド®)を使用している患者のカルテをレトロスペクティブに調査することで、角膜混濁の発生率、角膜混濁が発生するリスク因子などを明らかにすることを目的とする。

研究方法は、カルテを後方視的に調査することで行う。

研究期間は本研究が井上眼科病院倫理審査委員に承認された日から2027年12月までを予定している。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

角膜混濁の発生の有無を評価する。背景因子としては、年齢、性別、全身疾患、眼科疾患、併用薬剤などを評価する。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先担当者および研究責任者：

101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-3

03-3295-0911 (月曜日～土曜日 9:00～16:00)

お茶の水・井上眼科クリニック

院長 天野史郎

-----以上